

第 20 回春咲きコンサート

企 画 書

～ 咲かせよう みんなの笑顔 はたち 20才のキセキ ～

第20回 春咲きコンサート実施概要

名称	第20回春咲きコンサート ～ 咲かせよう みんなの笑顔 ^{はたち} 20才のキセキ～	
開催内容	日 時	平成28年3月20日(日) 開場:10時／開演:10時30分／終演:16時30分(予定)
	会 場	なら100年会館 【 奈良市三条宮前町 TEL:0742(34)0100 】
	協力券	1,500円
主催 共催	春咲きコンサート運営委員会 一般財団法人奈良市総合財団(なら100年会館)	
後援 (予定)	奈良市／奈良市教育委員会／奈良市社会福祉協議会／奈良市自治連合会／ 奈良市民生児童委員協議会連合会／奈良市心身障害者・児福祉協会連合会	
事務局	第20回春咲きコンサート実行委員会 事務局 〒631-0801 奈良市左京5-3-1 (奈良市総合福祉センター内 奈良市手をつなぐ親の会) TEL:0742(71)0770 FAX:0742(71)0773 http://www.harusaki.jp/ E-mail:nakama@harusaki.jp	

【第20回春咲きコンサート開催趣旨】

街がほほ笑み
街が語りかけ
街が踊っている
春咲き街では春が輝いています

私たちは、「春咲きコンサート」の回を重ねると共に、奈良の福祉に春が訪れる。

そのような願いを託し、続けてきました。

では、“奈良の福祉に春”はやってきたのでしょうか？

桜の開花宣言でいえば、今、何分咲きでしょうか

どの華が咲き どの花が蕾のままなのでしょう。

過去を振り返ってみると、元大川市長はじめ奈良市行政に全面的にご協力いただき、福祉の華が、どんどん開いた時期もありました。

また、福祉部長はじめ福祉部課長に、実行委員会にご出席いただいたこともあります。

奈良市社会福祉協議会も局長自ら施設を訪れ開催趣旨の説明をしていただき、協力依頼も行って頂きました。

「春咲きコンサート」を行う開催日1日の結果ではなく、多くの方と「春咲きコンサート」を創り上げる協同作業が目的です。

その営みが、福祉を通して支えあえる街づくり『福祉で街づくり』なのです。

そして、それを表現できるのが「春咲きコンサート」。

「春咲きコンサート」についてこのような問いかけをされる方がいらっしゃいます。

「何故 続けるのですか？」

楽しみにしている人たちがいるから

「何故 始めたのですか？」

奈良市に福祉のネットワークを創りたかったから

「何故 多くの時間とお金をかけるのですか？」

何らかの支援が必要な方たちがいっぱい来て下さるから

「何故 補助金を使わないのですか？」

補助金を頂ければ大変運営が助かります。でも、“自助・共助”の世界も必要だから

「何故 奈良市の施設が全員参加しないのですか？」

わかりません。でも、これが奈良市の現状だと考えています。

「何故 1,500 円の協力券がいるのですか？」

毎日5円貯金。一年で1,800 円。障がいをもっている人達にも可能な金額です。

「何故 なら 100 年会館で行うのですか？」

奈良市で一番良い会場を、支援が必要な方にプレゼントできればとの願いです。

多くの課題を抱えながら、『春咲きコンサート』を 20 回続けてきました。

『福祉で街づくり』のテーマは永遠です。

戦後、70年。社会保障の世界に、新たな課題が数多く見えてきました。

“貧困問題”です。戦後の困窮を超えて、高度成長期の1970年以降、社会福祉の領域だ、“貧困”は過去の問題とされていました。高齢化や介護問題、非行問題が豊かさのひずみとして説明されていました。

2000年“貧困”は障がいをもつ人たちだけではなく、子どもにも影響を及ぼす社会現象となっています。

“貧困”生活していくために必要なものがあるのに、その必要を満たすお金が欠如します。

結果、暮らしは破壊され、権利は奪われます。「必要」は時代に合わせて変化していきます。

今、“子どもの貧困”がクローズアップされていますが、“障がいをもつ人たちの貧困”問題は過去からも提唱されていましたが、今、避けて通れない社会問題です。

この問題に、私たちが行っている「春咲きコンサート」が直接支援をすることは不可能です。

でも、“お金がなくても困らない社会” 保育・教育・療育・医療・福祉・介護といった領域に、「自助・共助・公助」そして「互助」の世界を奈良市に展開できる“街づくり”なら私たちが関われるはずです。

『第21回春咲きコンサート』は、2017年3月19日に開催予定をしています。

でも、奈良市において、私たちの活動が必要でなければ、今回が最終回でもいいと考えています。

この答えは、皆さまがたのご判断に委ねます。



わたしは1人のひと あなたも1人のひと
この世界に おなじ時を生きている
1人のひと どうし

わたしは したいことが たくさんある
あなたも したいことが たくさんある
したいことが たくさんあるのも おなじ
この一回かぎりの人生

わたしは 幸せにいきたくと 願っている
あなたも 幸せに生きたいと 願っている
わたしとあなたの 願いは おなじ

わたしと あなたは おなじ

だから わたしもあなたも

おなじように生活できるよう いっしょに考えよう
おなじように幸せになれるよう いっしょにがんばろう

わたしと あなた とともに生きる仲間として
手を取りあって 歩いていこう

「あおぞら宣言」より

「福祉で街づくり」を趣旨に今年も「春咲きコンサート」開催します。

第20回 春咲きコンサート企画

○ 春咲きコンサートって？

障がいをもつ人、子どもやお年寄り、いろんな人々が、音楽で出会い、みんなで作るみんなのコンサートです。

なら 100 年会館をひとつの街に見立て『まちづくり』のイメージで取り組んでいます。

レストラン・みやげ物屋・劇場・美術館・交番・診療所など、日ごろ生活に必要なお店を、なら 100 年会館に揃えてみました。是非ご参加下さい。

○ 春咲き街の見どころを紹介します

春咲き案内所

広 報 担 当 みんなで、春咲きコンサートのお知らせを届けましょう！！
印 刷 部 会 缶バッジは春咲き街の住民票。
パンフレットは、福祉の街をもっと楽しむためのマップ。
2つのアイテムがそろえば、あなたの笑顔も20才です。

春咲きレストラン&みやげ物屋

授産品販売担当 「春咲きコンサート」楽しいおみやげが、たくさん並んでいます。
手作りが、ひとつひとつ あなたを待っています。

20 年前に出会った商品もあるかもしれませんよ！！

模 擬 店 担 当 奈良には「美味しいもんがない」という声を耳にしたことがあります！
でも。春咲き街には美味しいもんあり！！
奈良一番のシェフやパティシエを集めて「春咲きの美味しいもん」を
見つけて頂けるようにスタッフ一同頑張ります！！

春咲き劇場

ス テ ー ジ 担 当 ~ありがとう！20 才になりました~

春咲き美術館

展 示 担 当 やってきました、春咲きコンサート！！
今年も各施設や学校から集めた個性的で素敵な作品をたくさん展示する予定です。
楽しい企画が盛りだくさん！ゲームコーナーやスタンプラリーみんなで参加作ろう
アート！お楽しみに！

春咲き KOBAN

会場・誘導担当 笑顔あふれる春咲きコンサート！！
ご希望の場所までご案内いたします。
わからないことがあれば、気軽になんでもおたずねください！！
皆様のご来場、こころよりお待ちしております♪

○ 春咲き街のスタッフ大募集！

春咲きコンサート当日を一緒に盛り上げてくれるスタッフを募集しています。

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.harusaki.jp>

第20回春咲きコンサート予算案

収入	項目	予算	注釈
チケット	協力券売上	3,174,000	(@1,500×2,116枚)
事務局模擬店	ほっとぽっと売上	30,000	
東北支援売上		45,000	東北被災地支援品売上げ
その他の収入		0	
合計		3,249,000	

支出	項目	予算	注釈	
広報	リーフレット印刷費	30,000		
	ポスター印刷費	10,000		
	データ作成	17,000		
	缶バッジ材料費	32,640	(@19.2×1700個)税含	
	缶バッジマシン	62,845		
	プログラム印刷費	160,000		
	缶バッジ用プリント代	0		
	HP掲載用サーバ使用料	33,480		
	HP維持費	0		
	事務費	1,000	郵送費等	
		小計	346,965	
販売	会場装飾品・消耗品・事務費	10,000		
	小計	10,000		
ステージ	スタッフ人件費	790,000	(金・土・日包括)消費税含む	
	音響機材費	390,000		
	雑費	10,000		
	小計	1,190,000		
模擬店	会場設営費	500,000	振込手数料含	
	ほっとぽっと仕入れ	5,000		
	雑費	2,000		
	小計	507,000		
会場・誘導	スタッフジャンパークリーニング代			
	通信費			
	印刷費等			
	ボランティア昼食費	50,000		
	雑費	6,000		
	小計	56,000		
展示	材料費	15,000		
	小計	15,000		
事務局	会場使用料	850,000	【公演共催金負担分(3日間包括)】	
		43,200	【舞台委託関係費(3日間包括)】	
	駐車場	10,000		
	著作権料	80,000	大ホール(振込手数料含)	
	〃	28,000	中ホール(〃)	
	保険料	22,000	傷害・賠償・ボランティア	
	食料費	27,000	前日・当日スタッフ楽屋用	
	花束代	3,240	司会者	
	消耗品・事務用品費	11,000	コピー用紙、印刷等	
	東北支援品仕入れ	45,000	振込手数料含む	
	雑費	4,000	当日備品等運搬用ガソリン代他	
		小計	1,123,440	
		合計	3,248,405	

第20回 春咲きコンサート組織図

運営委員会

- コンサート開催における方針の協議⇒決定
- 関連機関・団体との連絡調整

実行委員会

- 方策の協議
- 企画立案
- 開催準備

顧問
奈良市長

運営委員会	
●コンサート開催における方針の協議⇒決定 ●関連機関・団体との連絡調整	
運営委員長	小西 英玄 (奈良市手をつなく親の会)
副委員長	安井 清梧 奈良市肢体不自由児・者父母の会
事務局	中前 克子 (奈良市手をつなく親の会)
会計	齋藤 和美 (奈良市手をつなく親の会)
委員	福祉施設・学校・団体 代表

事務局
▼担当部会の各担当チーフ
▼有志メンバー

担当部会		
担当	チーフ/サブチーフ	担当施設・団体
広報	ハッピーフラワーバンド(古川)	全員
印刷	事務局 (サブチーフ) アイハウス	ハーモニー倶楽部 桜の会
模擬店	(チーフ) 担当者全員 (サブチーフ) 担当者全員	普原園 かかしの会 事務局
授産品 販売	(チーフ) マーブル (サブチーフ) わかくさもえぎ	
ステージ	(チーフ) 奈良春日病院 (サブチーフ) ほんまにもお～校務店	茨木学園 東大寺福祉療育病院 奈良養護学校 春咲きVO(高市) エール
会場 誘導	(チーフ) (サブチーフ) 野の花舎	奈良東養護学校 ポラーノ広場
	(チーフ) あおはにの家・萌あおはに (サブチーフ) ボイス	仔鹿園 奈良西養護学校 登美学園

支援団体
奈良市保健福祉部 奈良市広報広聴課 なら100年会館 奈良市社会福祉協議会 奈良市音声館

第20回春咲きコンサート 各部会スケジュール①

	全体 会議日程/検討内容	事務局 会議日程/検討内容	印刷・広報			授産品販売 会議日程 検討内容	模擬店 会議日程 検討内容
			ポスター・リーフレット	缶バッジ・パンフレット	その他		
2015年 9月		第1回事務局会議 ◆運営委員会の日程・スケジュールについて 担当部会について					
10月	第1回実行委員会 ◆担当部会について ◆テーマの募集/決定 第2回実行委員会 ◆担当部会/チーフ・サブチーフの決定 ◆各部会打合せ						
11月	第3回実行委員会 ◆企画・予算・タイムスケジュールの決定 ◆各部会打合せ	第2回事務局会議 企画・予算・タイムスケジュールの検討	8日 原画受け取り 16日 表面初稿校正 20日 裏面原稿メ切 30日 2稿目データを各担当に送信	缶バッジデザイン作製、承認 缶バッジ作製開始	メールでのやり取りには『春咲きリーフレット原稿』など、一目で内容がわかるタイトルをつけること	チーフ・サブチーフ決定。	
12月	第4回実行委員会 ◆企画書作成 第5回実行委員会 ◆各部会の進捗状況について ◆チラシ等の配布方法の検討		2日 各担当で校正し返信 7日 実行委で最終校正 8日 最終稿データを各担当に送信 9日 ポスター・リーフレット印刷 18日 受領 21日 実行委員会で配布				
2016年 1月	1月は事務局会議のみです。 実行委員の皆さまは、広報活動にご協力よろしくお願いします。	第3回事務局会議 ◆チラシ・チケット・ポスターの配布 ◆各部会の進捗状況について		18日 担当毎にパンフレット掲載内容について検討 決定部分を業者へデータ送信 28日 jimuharusaki 宛 データ受信 担当毎にプリントアウト	自治連合会、民児連、市教委での広報活動 『しみんだより』掲載依頼	参加用紙の回収、出店事業所に出品リスト用紙の配布 出品リスト回収。会場レイアウトの作成準備	参加用紙の回収、出店事業所に出品リスト用紙の配布 出店リスト回収。会場レイアウトの作成準備
2月	第6回実行委員会 ◆100年会館との打合せについて ◆ステージ出演団体との打ち合せ 第7回実行委員会 ◆各部会からの報告 第8回実行委員会 ◆前日と当日の流れについて			1日 各担当で校正し業者へ内容を伝える 10日 jimuharusaki で受信 担当毎にプリントアウト 15日 校正→業者へ送信 22日 jimuharusaki で受信 担当毎にプリントアウト 29日 最終校正→業者へデータ送信	各社への報道依頼 状況確認、広報の見直し	レイアウト決定。参加団体調整会議 レイアウト準備・準備物品作成・調達 100年会館との打ち合わせ資料	模擬店参加団体調整会議 100年会館打ち合わせ レイアウト決定 レイアウト準備・準備物品作成・調達 100年会館との打ち合わせ資料作成
3月	第9回実行委員会 ◆最終確認		2日 業者より各担当へデータで最終稿確認 14日 受領 実行委で配布可			授産品販売参加団体・調整会議	模擬店参加団体・関係者調整会議
	前々日3月18日(金) 前日3月19日(土)					商品搬入・会場準備	会場準備
	当日本番3月20日(日)					授産品販売	模擬店販売
4月	第10回実行委員会 ◆春咲きコンサートの振り返り ◆報告書の作成						

第20回春咲きコンサート 各部会スケジュール②

	全体	事務局	会場・誘導	展示		ステージ	
	会議日程/検討内容	会議日程/検討内容	検討内容	会議日程 / 検討内容		会議日程	検討内容
2015年 9月		第1回事務局会議 ◆運営委員会の日程・スケジュールについて担当部会について					
2015年 10月	第1回実行委員会 ◆担当部会について ◆テーマについて						
	第2回実行委員会 ◆担当部会/チーフ・サブチーフの決定 ◆各部会打合せ						
11月	第3回実行委員会 ◆担当部会/チーフ・サブチーフの決定 ◆各部会の企画・予算・タイムスケジュールの決定	第2回事務局会議 企画・予算・タイムスケジュールの検討		チーフ・サブチーフの決定			◆チーフ・サブチーフの決定 ◆企画・予算・スケジュール(案)の決定 ◆アンケート配布 ◆参加希望の集約 ◆オープニング・フィナーレの企画検討 ◆舞台構成検討
12月	第4回実行委員会 ◆企画書作成		ボランティア募集要項、検討、作成 各方面にボランティア募集要項を配布	展示方法・イベント検討	展示作品の出品依頼 スタンプラリーの景品募集		◆出演団体、ステージ内容の調整 ◆仮ステージスケジュール作成、報告
	第5回実行委員会 ◆各部会の進捗状況について ◆チラシ等の配布方法の検討						
2016年 1月	1月は事務局会議のみです。 実行委員の皆さまは、広報活動にご協力よろしくお願いします。	第3回事務局会議 ◆チラシ・チケット・ポスターの配布 ◆各部会の進捗状況について	参加団体へアンケート配布(ボランティア必要人数等)	部会会議 作ろうアート製作 具体的内容の検討			◆舞台出演構成表配布 ◆ステージスケジュールの決定 ◆オープニングの案内 ◆オープニング・フィナーレの決定
2月	第7回実行委員会 ◆100年会館との打合せ ◆ステージ出演団体との打ち合せ		各種資料作成(100年会館提出用) 関係者と打ち合わせ及び説明	部会会議 作ろうアート製作 具体的な内容の確認 キャプション配布	景品の数確認 必要に応じて募集		◆大ホール・中ホール ヒヤリング ◆ステージ内容調整決定
	第7回実行委員会 ◆各部会からの報告 第8回実行委員会 ◆前日と当日の流れについて 第9回実行委員会 ◆最終確認						
3月	前々日 3月18日(金)		準備物の確認	当日の動きなど確認	作品搬入出の案内		◆会館と打ち合わせ ◆会館、司会者、出演団体、手話通訳との最終打ち合せ ◆オープニング・フィナーレ最終確認 ◆各機関と打ち合わせ
	前日 3月19日(土)		ボランティアへの説明・活動、会場準備、駐車場準備	設営・作品搬入・展示・イベント準備		リハーサル	
	当日本番 3月20日(日)		会場誘導施 担当部会反省、報告書作成	会場見守り・イベント運営→ 後片付け・作品等搬出			オープニング リハーサル
4月	第10回実行委員会 ◆春咲きコンサートの振り返り ◆報告書の作成			反省・報告と振り返り			振り返り報告

みんなの樹

街の真ん中の広場に天までとどきそうなクスノ木の巨木がありました。
その巨木は、暑い日も寒い日も、街の人や子どもたちを見守っていました。
ある晴れた夏の日、巨木の足元から大きな声が聞こえてきました。
どうやら、歌を唄っているようです。
話し声も聞こえます。
楽しいね♪ 歌を唄うのは楽しいね♪
よく見ると、車椅子に乗った少年や、歌にあわせて右に左に身体を動かしている子、楽しそうに走り回っている子、いろいろな子がいます。



巨木は思いました。
こんなに、楽しそうに唄っている子どもたちの歌声を街のみんなに聞かせてあげたいなあ。

巨木は一羽の小鳥に相談しました。

「この子たちの楽しそうな唄声を街の皆に聞かせたい協力してくれるかな」

小鳥は答えました。

「いいですよ。そしたら、もっと多くの仲間を集めましょう。」

小鳥は、毎日 街の人を見つけると話しました。

小鳥の話聞いた街の人が「私はピアノが弾けるから伴奏しましょう」「私がお客さんを集めましょう」「私たちもお手伝い出来ることあるかしら・・・」と沢山の人が集まりました。

みんなで話しあっているうちに「そうだ！みんなを誘ってコンサートをしよう」「いいね！」「いいね！」「子供からお年寄り、みんなが楽しめるコンサートにしましょう♪」

「ワクワクしてきたわ。私たちも楽しみましょう♪」

そんな話を子どもたちにしたら「私たちの仲間にクッキーを焼いている子たちがいるよ」「絵を描いている子もいるのよ」きっと、みんなも行きたいよ。

この話を聞いた巨木が言いました。

この広場に一日だけ子供からお年寄りまで皆が安心して楽しめる街を創ろう。

街には劇場にレストランにおみやげ物屋さん。そして、みんなの発表の場のステージ。

迷子のための交番もつくろう。後はみんなで宣伝だ！

そして、当日は、子どもたちだけではなくお年寄りまで「私たちもステージに立ちたいなあ」と言い出しコンサートは賑やかなものになりました。

この話を聞いた町長さん。

私たちに出来ることを考えなくては・・・と思ったそうです。

こんな、みんなが助け合える街が一日限りのものではないことを巨木は願っています。